

國島市長に問う!!

一般質問



9月19日から21日までの3日間、15人の議員が市政全般について質問しました。

9月19日(水)

9月20日(木)

9月21日(金)

	議員名	質問方式	掲載ページ		議員名	質問方式	掲載ページ		議員名	質問方式	掲載ページ
1	倉田博之	一問一答	8	1	松山篤夫	一括	11	1	村瀬祐治	一問一答	14
2	水門義昭	一問一答	9	2	山腰恵一	一問一答	12	2	岩垣和彦	一問一答	15
3	中田清介	一問一答	9	3	中箴博之	一問一答	12	3	小井戸真人	一問一答	15
4	藤江久子	一問一答	10	4	渡辺甚一	一問一答	13				
5	谷澤政司	一問一答	10	5	佐竹 稔	一問一答	13				
6	若山加代子	一問一答	11	6	松葉晴彦	一問一答	14				

※本会議などの様子は、市議会のホームページ・ヒットネットTVでご覧いただけます。

(インターネットでは、当日の生中継のほか録画配信により、いつでも閲覧することができます)

<http://www.city.takayama.lg.jp/gikai/gikai-eizou.html>



倉田 博之 議員

高山・大原断層帯地震

【問】平成16発表の県想定による市の被害は甚大。防・減災対策に発表データの活用は。

【答】災害用備蓄品購入計画や総合防災訓練などへ反映。

【問】新データの整備と住民周知は。

【答】県は来年1月に新想定公表予定。データを周知し施策を推進。
【問】生存救助者は大半が近隣住民による救出だ。消防団の救助訓練は。

【答】大変重要。取り入れているし次年度以降、団員の研修を行いたい。

【問】外資企業への団員加入義務など、新たな団員確保策が必要では。

【答】企業への義務化は困難。別施策を検討。

犠牲者837人!!
要救出者
1493人!!

【問】活断層上の建築制限を始めた自治体がある。市の方向は。

【答】図上確認では詳細を把握できない。防災上有効だが、県の指導を仰ぎつつ検討していく。

増加する認知症の対策

【問】高山市の対象者数と動向は。

【答】4月1日現在、日常生活自立度Ⅱ以上2541人で増加傾向。
【問】地域包括支援センターの認知症関係相談



福岡県大牟田市で全戸配布された「認知症ハンドブック」全12ページ

状況および認知症対応型通所介護事業と認知症対応型共同生活介護事業の現況は。

【答】平成23年度延べ相談件数4067件。通所は5施設の定員総数58人で約8割の利用希望者受入れ可能。共同生活は5施設の定員総数39人で満床状態。8月末の待機者74名。22床を増床予定。

【問】対象者支援は。

【答】市民や関係機関と情報共有し、連携する体制の整備に努める。
【問】早期発見・早期治療への取り組みは。

【答】周囲の早い気づきにつながる認知症サポーター養成講座を継続。医療との連携強化。
【問】市民の周知と理解に対する啓発は。

【答】サポーターの養成拡大や地域ネットワークの構築を図る。

【問】家族へのケアは。
【答】介護者同士の交流や悩み相談などの民間団体情報を提供。他の方策も探っていく。